

2013年7月10日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

2013年度「機械遺産」6件が決まる！

一般社団法人日本機械学会（東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階、会長：矢部 彰（独）産業技術総合研究所・理事）は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」を選定し、8月7日「機械の日」に認定いたします。

機械遺産の認定は、2007年に本会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで55件を認定し、今年で7回目となります。応募・推薦があった候補の中から厳正なる審査の上、下記6件の認定を決定いたしました。

なお、認定表彰式は2013年8月7日（水）「機械の日・機械週間」記念行事（東京大学山上海館：東京都文京区本郷）に於いて行われます。

2013年度「機械遺産」認定一覧

	【】内は遺産所在地
第56号 機械式立体駐車装置 ロートパーク	【東京都新宿区】
第57号 国産化黎明期の家庭用電化機器	【神奈川県川崎市幸区】
第58号 旧横須賀製鉄所 スチームハンマー	【神奈川県横須賀市】
第59号 大隈式非真円平軸受とGPB形円筒研削盤	【愛知県丹羽郡大口町】
第60号 国産初の16ミリ映写機（エルモA型）	【愛知県名古屋市中区】
第61号 からくり人形 弓曳き童子	【福岡県久留米市】

「機械遺産」について

日本機械学会は、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することで、文化遺産として大切に保存し、次世代に伝承するために本会110周年を記念して本事業を創立致しました。認定対象は原則として Site(歴史的景観を構成する機械遺産) Landmark(機械を含む象徴的な建造物・構造物) Collection(保存・収集された機械) Documents(歴史的意義のある機械関連文書類)の4分野の機械遺産。会員から応募・推薦のあった候補について、本会の技術と社会部門「機械遺産委員会」で選定・評価を行い、「機械遺産監修委員会」の総合評価を経て最終的に候補を絞り込み、理事会で承認されたものを「機械遺産」として認定表彰するものです。

これまでに認定された機械遺産の一覧等は、本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/> をご覧下さい。

本ニュースリリースは解禁日時7月24日（水）午前0時を厳守願います

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 総務グループ 高橋・曾根原
電話(03)5360-3500 / FAX(03)5360-3508
E-mail: sonehara@jsme.or.jp

2013年7月10日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

日本機械学会および機械系諸団体、8月7日の「機械の日」にあわせて 全国各地でイベントを開催

「機械の日・機械週間」について

一般社団法人日本機械学会(東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階, 会長: 矢部 彰 (独) 産業技術総合研究所・理事)は、「機械」の意義や役割を広く社会とともに考え、人間と機械のふさわしい関係を模索するため、産官学の関係各方面と協力して、七夕の中暦(月遅れ)にあたる8月7日を「機械の日」、8月1日~7日を「機械週間」(メカウィーク)と2006年に制定しました。

本年も「機械の日・機械週間」を中心に、機械系諸団体とともに北海道から沖縄までの全国各地で100件以上の記念イベントを開催いたします。

このような機会を通じて、若年層の理工系離れ・技術離れの回避、女性を含めた次世代のインベティブな技術者育成の支援、さらに国際的な技術学術交流の促進を図りたいと考えています。

8月7日は「機械の日」。

* 機械の歴史は遠く古代に遡るとも言われますが、中でも七夕の起源は機械に少なからず関係の深い史実を含んでいます。七夕は、技巧上達を祈念する中国の「乞巧奠」(きっこうでん)に由来し、奈良時代に我が国に伝来しました。「たなばた」の読みは、この日に神に捧げる御衣を「棚機(タナバタ)」という当時の織機で織り上げたことから生じたとされています。

「機械の日・機械週間」記念行事

本年は、8月3日(土)に国立科学博物館(東京都台東区上野公園)に於いて「夢の機械・未来の機械」をテーマに募集した絵画コンテストの表彰や小中学生向けの体験型イベント等を企画し、8月7日(水)は東京大学山上会館(東京都文京区本郷)に於いて「機械遺産」認定表彰や「未来ののりものを考える」と題した記念講演会を実施いたします。

「あつまれみらいのエンジニア」小中学生向け体験型イベント、絵画コンテスト表彰

開催日時: 8月3日(土) 9:00~17:00

会場: 国立科学博物館 地球館2階

常設展示入館料: 一般・大学生 600円, 高校生以下無料

〔主な企画〕 (いずれも30~45分程度)

- ・「ロボット教室~ロボットと触れ合おう~」(芝浦工業大学)
- ・「折り畳める翼の飛行機で火星を探る インフレーターブルウィング機による上空からの探査」
(東海大学・ウルトラライトスペースシステムプロジェクト)
- ・「ちょうしんきを作ろう」(埼玉大学)
- ・「手作りの2足歩行ロボット」(日本工業大学)
- ・「JAXA コズミックカレッジ『空力翼艇を作ろう』」(日本宇宙少年団(YAC)横浜分団)

「機械遺産」認定表彰、「未来ののりものを考える」記念講演会

開催日時: 8月7日(水) 13:30~20:00

会場: 東京大学 山上会館

参加費: 無料(懇親会費3,000円)

〔機械遺産認定表彰〕13:30~14:30

代表者挨拶、パネル展示

* 認定される機械遺産は別紙資料をご参照ください。

〔記念講演会〕14:40～17:40

テーマ「未来ののりものを考える」

- (1) ひこーき 「MRJの開発 日本の翼を世界の空へそして未来へ」
宮川 淳一（三菱重工業株）
- (2) れっしゃ 「超電導リニアによる中央新幹線」
保坂 史郎（東海旅客鉄道株）
- (3) くるま 「期待される次世代移動体としての自動車」
農沢 隆秀（マツダ株）
- (4) ふね 「環境にやさしく 楽しい船」
田中 康夫（日本郵船株）

〔懇親会〕18:20～20:00

会費：3,000円（当日会場にて申し受けます）

国立科学博物館にて開催される長期イベント

展示会「日本の先端科学技術の紹介」

- 日本機械学会賞（技術）、優秀製品賞、機械遺産パネルの展示 -

開催日：7月26日（金）～8月8日（木）

会場：国立科学博物館 地球館2階

博物館入館料：一般・大学生600円，高校生以下無料

日本機械学会「機械遺産」として昨年までに認定された55件のパネルを展示いたします。

また、「日本の先端科学技術」となる2012年度学会賞（技術）受賞技術8件、優秀製品賞受賞製品5件を、受賞各社の説明員や本会シニアボランティアがわかりやすく紹介いたします。

機械遺産及び最新の受賞技術を通じて、過去から最先端の機械技術をご覧いただくとともに、特に小中学生には夏休みの自由研究として学校に提出できるようお手伝い（認定証を発行）いたします。

2013夏休みサイエンススクエア「おもしろメカニカルワールド」

（国立科学博物館 主催 / 日本機械学会関東支部 協力）

開催日：7月23日（火）～8月4日（日） *7月29日（月）は休室

会場：国立科学博物館 日本館1階企画展示室

博物館入館料：一般・大学生600円，高校生以下無料

関東近郊の各大学の協力のもと、模型を使った実験・実演を行うことで、小中高校生を対象に機械工学の原理を平易にやさしくわかりやすく示し、慣れ親しんでもらう参加形式を心がけております。今年で15回目になりますが大変好評で、理工系好きの少年少女を育成するための一助になればと考えております。

- ・「ブランコは、なぜゆれるの」(東京工業大学：木村研究室)
- ・「あれ、水タンクで建物の揺れが止まるよ」(東京大学：金子研究室)
- ・「クリーンエネルギーを体験してみよう」(早稲田大学：勝田研究室)
- ・「自分で作れる！ちょっと不思議なやじろべえ」(埼玉大学：佐藤研究室)

機械の日・機械週間ホームページ

<http://www.jsme.or.jp/kikainohi/>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上 理
電話 (03) 5360-3503 / FAX (03) 5360-3508
E-mail: inoue@jsme.or.jp